

チャレンジデー2市勝利

市民一丸、運動に汗

常陸太田 行方 ラジオ体操や大縄跳び

住民のスポーツ参加率を自治体間で競う「チャレンジデー2015」が27日、午前13時自治体で行われ、県内からは常陸太田市と行方市が参戦した。ラジオ体操や球技、大縄跳びなど、まちを挙げて運動に取り組み、両市とも50%を超える高い参加率を記録して対戦相手に勝利した。



ラジオ体操に取り組み市民ら。常陸太田市新宿町

チャレンジデーに参加し大縄跳びに挑戦する麻生東小の児童たち。行方市蔵川

チャレンジデーは世帯単位で実施されている住民参加型イベント。15分以上継続し、問わない、同規模の自治体で対戦し、住民の参加率を競う。7回目の参戦となる常陸太田市は鹿兒島県指宿市と対戦。参加率は過去最高の55・4%を記録して勝利を飾った。指宿市の参加率は47・8%。これで通算市民率は約1時間半体を動かし心地よい汗を流した。行方市の住民参加率は50・3%。市民がラジオ体操やグラウンドゴルフ、小中学生は大縄跳びなど、まちを挙げて運動に取り組んだ。同市は住民のスポーツ参加や健康づくりを目的に2010年から毎年参加。今回の対戦相手は富山県魚津市（参加率47・3%）で、行方市が勝利した。同市内では、あらか

成績は3勝3敗（2011年は東日本大震災で対戦なし）となった。同市新宿町の山吹運動公園市民体育館では、ラジオ体操教室が開かれ、元NHKラジオ体操アシスタントの田村恵美さんが実指指導を行った。田村さんは、使った筋肉を意識しながら体を動かしましょう。などと呼び掛けながら、手足の曲げ伸ばしから体のひねりまで一連の動作を一つ一つ確認。参加した約50人の市民らは約1時間半体を動かし心地よい汗を流した。大縄跳びをした6年生の渡辺美友さんは「チームワークがよ、最高で28回跳べた」と笑顔。小沢田依さんは「皆と一緒に楽しくできたのでよかった」と話していた。

2015年5月29日 金曜日 茨城新聞

「チャレンジデー 2015」の結果発表

ご協力ありがとうございました

5月27日（水）に15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を競い合う、住民参加型のスポーツイベント、『チャレンジデー 2015』に参加いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。

今年は、富山県魚津市（うおづし）と対戦し、勝利を収めることができました。チャレンジデーだけでなく、日常の中で運動する習慣をつけましょう！

行方市の参加率	50.3%
(参加者 18,733人 市民数 37,236人)	
富山県魚津市の参加率	47.3%
(参加者 20,575人 市民数 43,519人)	



2015年7月1日号
広報なめがた

主催

常陸太田市チャレンジデー実行委員会 (会長 大久保太一)
常陸太田市教育委員会 スポーツ振興課
〒313-0007 茨城県常陸太田市新宿町1番地
山吹運動公園市民体育館内
TEL: 0294-73-0090 FAX: 0294-73-1230

結果

人口: 55,417人
参加者数: 30,716人
参加率: 55.4%
取得メダル: 金

茨城県常陸太田市 ○
VS
鹿児島県指宿市 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①常陸太田ジュニア陸上競技教室 (山吹運動公園 運動広場) 127人
- ②久自楽舞を楽しく踊ろう (山吹運動公園 市民体育館) 55人
- ③「ヘルシーライフ」ラジオ体操教室 (山吹運動公園 市民体育館) 51人
・ラジオ体操による健康づくりを推進するため、NHKテレビ・ラジオ体操の元アシスタントの田村恵美さんを講師として招き、ラジオ体操の正しい動き、効果等を含めた実演指導による教室を実施しました。
- ④リズムにのって楽しく遊ぼう (山吹運動公園 武道館) 45人
- ⑤温水プールでレッツチャレンジ (常陸太田市温水プール) 85人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

茨城新聞

広報・周知

- ・市ホームページへの掲載と併せて SNS (市 Facebook) を活用して PR を行いました。また、参加報告を携帯電話やスマートフォンから手軽にできるよう、チャレンジデーの PR チラシに QR コードを掲載し、新聞折り込みにより各家庭に配布しました。結果、インターネット経由による報告が大幅に増加しました。(前回: 14 件・37 人⇒今回: 102 件・102 人)

製作物

チラシ 51,000 枚

実施効果

- ・町会や協力団体等において、ラジオ体操やウォーキングなどの運動習慣の定着化につながる取り組みが増え、健康意識の向上と地域の一体感が生まれました。

- ・協力依頼のために連携団体や企業、事業所等へ足を運ぶことで、市の健康づくりの取り組みを PR することができました。
- ・企業や事業所、福祉施設など、日頃は教育行政では関わりが少ない団体等の参加協力を得て事業を実施することができました。
- ・NHK テレビ・ラジオ体操元アシスタントの方を講師に招き、ラジオ体操教室を開催することができ、健康づくりの手段としてラジオ体操を普及するための取り組みができました。

担当者から

チャレンジデーは、過去 6 回の実施で着実に市民に浸透してきており、昨年は参加率 51.9%と初めて 50%台の大台を超える結果となりました。

しかし、この取り組みが、本来の目的である市民の運動習慣化やスポーツ実施率の向上につながっているのか、対戦相手の自治体と参加率を競う 1 日限りのイベントで終わっているのではないかという懸念がありました。このため、今回の実施にあたっては、改めて、チャレンジデーに参加する目的を市民に知ってもらい、運動習慣の定着化につながるイベントにしたいという強い思いで、積極的な啓発活動を行いチャレンジデーに臨みました。結果、前回の参加率を上回る 55.4%の参加率で対戦に勝利することができました。そして何よりうれしかったことが、地域や団体等で運動習慣の定着化につながる参加報告が増え、市民の健康意識の高まりを感じられたことです。今後もこのチャレンジデーを契機として、市民の健康づくりに取り組んでいきたいと思いました。



ラジオ体操教室



みんなで楽しくグラウンド・ゴルフ

2015年5月26日 火曜日
茨城新聞

健康スポーツチャレンジデー

「参加率60%超」狙う



ラジオ体操に取り組み市民ら。常陸太田市新野町（前年のチャレンジデーから）

常陸太田市、あす参戦

スポーツの魅力を広く、喜ばれる。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。

体操、ダンス、ゴルフ… 相手は鹿児島・指宿市

常陸太田市は、今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。

常陸太田市は、今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。

チャレンジデー2市勝利

市民一丸、運動に汗

常陸太田市と指宿市が、今年に開催されたラジオ体操チャレンジデーで、市民一丸で参加し、両市ともに50%を超える参加率を記録して対戦相手に勝利した。

常陸太田市は、今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。今年には常陸太田市の市民らにスポーツや運動の楽しさを伝える。



チャレンジデーに参加し大縄跳びに挑戦する麻生東小の児童たち。行方市蔵川

2015年5月29日 金曜日 茨城新聞



久自楽舞を楽しく踊ろう

主催

上三川町チャレンジデー実行委員会 (委員長 星野光利)
上三川町教育委員会 生涯学習課 スポーツ係
〒329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ1丁目1番地
TEL: 0285-56-9170 FAX: 0285-56-6691

結果

人口: 31,361人
参加者数: 26,961人
参加率: 86.0%
取得メダル: 金

栃木県上三川町 ○
VS
愛知県扶桑町 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操・かみたん体操 (上三川いきいきプラザ) 113人
 - ・かみたん体操は昨年から町民の健康増進のために作成された町オリジナルの体操です。
「上三川音頭」をポップなダンス調にアレンジした音楽で、町の鳥しらさが羽ばたく動きや、ゆうがおの実の収穫、かんびょうが干される様子、かんびょう巻の具の動きが入っています。この動きは、下半身動作で脚力の維持向上と心肺機能の上昇、ねじり動作による全身のバランス力向上の要素が含まれています。
 - ・また、音楽は3番まであり「ストレッチ・筋力トレーニング・有酸素運動」の要素が組み込まれ、子どもから大人まで簡単にできる健康体操となっています。
- ②ラージ卓球 (上三川町体育センター) 84人
- ③パークゴルフ大会 (田川ふれあい公園) 76人
- ④1日体験剣道教室 (武道館) 42人
- ⑤ソフトボール大会 (桃畑緑地公園) 32名

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／競技団体／レクリエーション協会
／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

読売新聞／下野新聞

広報・周知

町長をはじめ課職員が一丸となって町内事業所及び教育機関等へ直接訪問し、チャレンジデーの周知及び参加協力依頼を実施しました。

また、毎週土曜日、日曜日には広報車を準備し、チャレンジデーの開催を町内全域へ呼びかけました。

製作物

チラシ 2,000枚／横断幕・懸垂幕 1枚／ポスター 1,000枚

実施効果

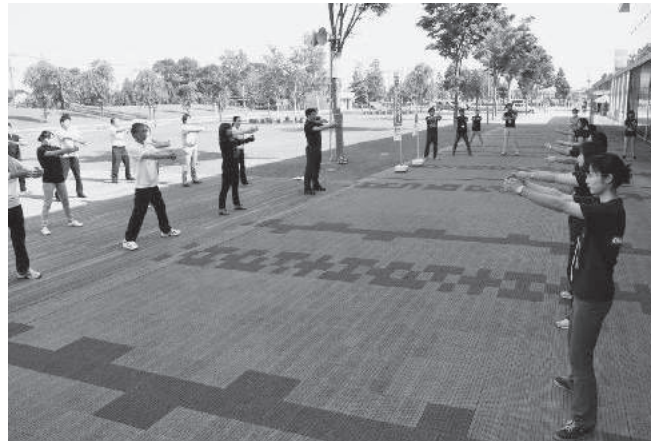
- ・自治会や企業等それぞれのコミュニティーにおいて、住民間の連携やコミュニケーションを深めることができました。
- ・普段運動をしていない方にも運動をするきっかけづくりを提供することができました。
- ・体育協会主催の事業や地域総合型スポーツクラブの事業を多くの方に知ってもらうことができました。
- ・運営サイドの協力団体にとっても自分の運動習慣、健康について見つめ直す良い機会となりました。

担当者から

今回はチャレンジデー3回目の挑戦ということで、町、協力団体、企業それぞれが参加率100%を目指し取り組みました。

結果として、参加率86%という数字をあげる事ができたのも、官民一体となりチャレンジデーに取り組むことができた証であり、非常に良かったと思います。

参加率以上に、運動をする習慣づくり及び健康を見直すきっかけづくりをすることにより、町民のスポーツ・健康への意識改革になればと思っております。



開会式での「かみたん体操」



四つ竹踊り

2015年5月18日月曜日
読売新聞

競えノスポーツ参加率

27日上三川、芳賀町が参戦

人口が同規模の自治体同「デー2015」(毎バスが、体を動かした住民の「スポーツ財団」を主催「参加率を競う」チャレンジ)に開かれる。県内から出

チャレンジデー 午前0時～午後9時に15分以上継続して運動をした人が人口に占める割合を、住民の申告に基づいて市町村が算出・報告して勝敗を決めるスポーツイベント。カナダが発祥で、日本では1993年から毎年5月の最終水曜日に行われており、今年には全国の130市町村がしのぎを削る。ラジオ体操や社交ダンス、散歩など幅広い身体活動が対象になっている。敗者は勝者の自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲げなければならない。

場する上三川町と芳賀町では、町長が企業や団体を回つて直接参加を呼びかけた。町役場でラジオ体操を企画したり、町ぐるみでの勝利に万全の態勢で臨む。

3連勝を目指す、上三川町は過去2回の大会で80%台前半の参加率を記録。人口3万人以上7万人未満の部門で全国1位になるなど好成績を残してきた。星野



一斉に体操する町民。町内各地で運動する光景が見られた(昨年5月28日、上三川町)

成績(83・2%)を上回る85%を目標に掲げる。星野町長は「ここで参加率が下がったら怠けたと思われ。町民一体になって目標達成に取り組みたい」と意気込む。

3年連続出場で、鹿児島県阿久根市と競う芳賀町は昨年の参加率が1昨年(78・7%)の半分以下の34・7%に落ち込んだ。今回は町役場に各課横断の準備委員会を設け、職員が手分けしてホンダ関連企業やJ.A.金融機関などを回って参加を呼びかけている。大会前々日の25日には町内各世帯に新聞折り込みチラシを配るほか、大会

当日の早朝には役場前でラジオ体操も行う。町健康福祉課は「日常生活の中で運動を意識してもらい最高のきっかけなので、呼びかけを続けたい」としている。

【上三川・芳賀】住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2015」が27日、上三川、芳賀両町それぞれ行われた。

同イベントは人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上の運動を行った住民の参加率を競う。

全国130カ所の自治体計277万1720人が参加し、平均参加率は52・7%だった。

本県からは上三川、芳賀両町が3年連続で参加。上三川町の参加率は86・0%と、対戦先となった愛知県扶桑町の67・4%を上回り、3年連続

全国自治体スポーツ参加率競争

で相手に勝利した。一方、芳賀町の参加率は40・6%で、対戦先の鹿児島県阿久根市の41・2%をわずかに及ばず、2年連続で相手に勝てなかった。

この日、上三川町は、上浦生の上三川いきいきプラザでオープンングセレモニーを開き、町民がラジオ体操、独自の当地体操「がみたん体操」で汗を流した。星野光利町長は「参加率で勝つだけでなく、コミュニケーションを盛り上げ、体を動かさすきっかけをつくるのが目的」と運動する習慣の継続を訴えた。

一方、芳賀町は町役場で

本県から上三川、芳賀参加

オープンングセレモニーを開き、ラジオ体操を行った。町長就任後初のチャレンジデー参加となった見沼町長は「朝運動するのは良いこと。このイベントがきっかけになり、町民や町職員同士の輪が広がれば」と話した。

対戦相手には負けたが、参加率が昨年の34・7%を上回ったことについて同町健康福祉課の担当者は「業団地で参加を呼び掛ける説明会を開催したとや、各自治会が積極的に取り組んできた」と話した。

(井上裕史、近藤圭佑)



ラジオ体操の汗を流す上三川町の星野町長(中)や町民



芳賀町役場前でラジオ体操をする見沼町長(右)や町民

2015年5月29日 金曜日
下野新聞



かみたんも一緒にたいそう!

主 催

芳賀町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 見目 匡)
 芳賀町住民生活部健康福祉課健康係
 〒 321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井 1020
 芳賀町役場
 TEL : 028-677-6042 FAX : 028-677-2716

結 果

人 口 : 16,065 人
 参加者数 : 6,455 人
 参加率 : 40.2%
 取得メダル : 銀

栃木県芳賀町 ●
 VS
 鹿児島県阿久根市 ○

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①オープニングセレモニー、ラジオ体操、健康ウォーキング (役場玄関前、役場駐車場⇄道の駅はが) 280 人
- ②チャレンジゲーム (町第 2 体育館) 144 人
 - ・チャレンジゲームは予想を上回る参加人数で大変盛り上がりしました。保育園から保護者に呼び掛けてもらったことが参加増につながったと思われます。チャレンジゲームはスポーツ推進委員に依頼し、フライングディスク、輪投げ、風船バレーを行いました。さらに同じ会場でインディアカとショートテニスの体験教室もあり、チャレンジゲームと併せて参加していただきました。
- ③体験!「エンジョイ スリム体操」(農業者トレーニングセンター) 46 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/幼稚園・保育園/小学校/中学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/高齢者施設/障害者施設/各課関係団体/ JA /金融機関/ B & G 海洋センター

メディア

下野新聞

広報・周知

庁内職員の準備委員会結成から関与する団体等への協力要請、自治会連合会での説明と協力依頼、工業団地管理センターでの説明会、企業への訪問及び電話での依頼を実施しました。また、チャレンジデーロゴ入り T シャツを職員や関係者に配布、着用を促し、イベント参加への機運を高めました。

製作物

チラシ 10,000 枚

実施効果

目標参加率の 50%には届きませんでしたが、自治会や工業団地企業、イベント参加者が増えました。「町民の運動習慣へのきっ

かけづくり」という目的には近づいたと思われます。

担当者から

チャレンジデー開催までの 1 ヶ月間は慌ただしく、他の業務との両立が困難に感じることもありました。しかし、警察署や土木事務所への届け出、報告用電話・FAX の取り付け工事の手配など、普段の業務では得られない貴重な経験ができました。イベントはスポーツ推進委員の協力により、予想を上回る参加者にも対応できました。スポーツ推進委員とは直接的な関わりはありませんでしたが、担当と同じ課の社会体育係との連携により行えました。

今年は、自治会、企業の協力が得られたことが大きな成果のように思います。



輪投げ大会



ラジオ体操



チャレンジゲーム

2015年5月18日 月曜日
読売新聞

競えスポーツ参加率

27日上三川、芳賀町が参戦

人口が同規模の自治体同場する上三川町と芳賀町で、体が動かしだした住民の参加率を競う「チャレンジデー2015」(笹川スリ、町役場前でラジオ体操ポーツ財団など主催)が27日に開かれる。県内から出

人口が同規模の自治体同場する上三川町と芳賀町で、3連勝を目指す、上三川町は過去2回の大会で80%、台前半の参加率を記録。人口3万人以上7万人未満の部門で全国1位になるなど好成績を残してきた。星野を促した点が成功したとして、愛知県扶桑町が相手の今回も同じ戦略で、昨年の光利町長が日産自動車栃木工場や自治会を回って参加成績(83.7%)を上回る85%を目標に掲げる。星野町長は「ここで参加率が下



一斉に体操する町民。町内各地で運動する光景が見られた(昨年5月28日、上三川町で)

がったら怠けたと思われ、町民一体になって目標達成に取り組みたい」と意気込む。3年連続出場で、鹿児島県阿久根市と競う芳賀町は昨年の参加率が一昨年

(78.7%)の半分以下の34.7%に落ち込んだ。今回は町役場に各課横断の準備委員会を設け、職員が手分けしてホンダ関連企業やJ.A.金融機関などを回って参加を呼びかけている。大会前々日の25日には町内各世帯に新聞折り込みチラシを配るほか、大会当日の早朝には役場前でラジオ体操も行っ。町健康福祉課は「日常生活の中で運動を意識してもらう最高のきっかけなので、呼びかけを続けたい」としている。

全国自治体スポーツ参加率競争

【上三川・芳賀】佳参加型スポーツイベント「チャレンジデー2015」が27日、上三川、芳賀両町でそれぞれ行われた。同イベントは人口規模ほぼ同じ自治体同士が、15分以上の運動を行った住民の参加率を競う。全国30カ所の自治体計27万1720人が参加し、平均参加率は52.7%だった。本県からは上三川、芳賀両町が3年連続で参加。上三川町の参加率は86.0%と、対戦先となった愛知県扶桑町の67.4%を上回り、3年連続



ラジオ体操汗を流す上三川町の星野町長(中央)や町民

チャレンジデー2015



芳賀町役場前でラジオ体操をする見目町長(右)や町民

本県から上三川、芳賀参加

オープンクセレモニーを開きラジオ体操を行った。町長就任初のチャレンジデー参加となった見目町長は「朝運動するのは良いこと。このイベントがきっかけになり、町民や町職員同士の輪が広がれば」と話した。対戦相手には負けしたが、参加率が昨年の34.7%を回ったことについて同町健康福祉課の担当者「工業団地で参加を呼び掛ける説明会を開催したとや、各自治会が積極的に取り組んでくれた」と話した。(井上裕史、近藤志保)

2015年5月29日 金曜日
下野新聞

主催

小鹿野町チャレンジデー実行委員会（実行委員長 福島弘文）
小鹿野町教育委員会 社会教育課
〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 167-1
小鹿野文化センター内
TEL：0494-75-0063 FAX：0494-75-0032

結果

人口：12,747人
参加者数：6,594人
参加率：51.7%
取得メダル：銀

埼玉県小鹿野町 ●
VS
北海道深川市 ○

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①ファイナルイベント（軽スポーツ体験、バレー、インディアカ体験等）（小鹿野中学校校庭、体育館、町民体育館）490人
・インディアカ、ストラックアウト、グラウンド・ゴルフ、輪投げ等幅広い世代が楽しめるイベントでした。
- ②グラウンド・ゴルフ大会（下小鹿野グラウンド）155人
- ③太極拳（国民宿舎両神荘 芝生広場）45人
- ④テニス体験（総合運動公園テニスコート）41人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／レクリエーション協会／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体

広報・周知

新聞折込のチラシを町内のみならず、周辺地域にも配布し、チャレンジデーへの参加を呼びかけました。

製作物

チラシ 11,500枚

実施効果

チャレンジデーを機会に当町では子どもにあまりなじみのないインディアカ、パタンク等のスポーツに触れ合う場を設けることができました。

担当者から

当日は、好天に恵まれ、グラウンド・ゴルフ大会には町外からも大勢の方に参加していただきました。また、里山案内人のガイド付きの町民ウォーキングや太極拳体験も好評でした。ファイナルプログラムでは、子どもからお年寄りまで幅広い世代の町民が参加し大盛況に終わることができました。

結果としては、昨年度より参加率も上がり、町民のスポーツに対する意識の高まりを感じました。今後はさらに参加率が上がるようにチャレンジデーの周知に努めて行きたいと思います。



太極拳体験



町民ウォーキング



ステップ体操

スポーツ参加率競う
秩父と小鹿野が参戦
チャレンジデー

人口規模がほぼ同じ自治体が住民の運動・スポーツへの参加率を競う「チャレンジデー」が27日行われ、秩父市が岐阜県羽島市と、小鹿野町が北海道深川市とそれぞれ対戦した。

市では、メイン会場のスポーツ健康センターでイベントを実施したほか、文化体育センターや温水プールを無料開放した。

市役所のホールでは昼休みに職員がラジオ体操を実施。NHKの番組に出演する岡本美佳さん(41)の指導で、久喜邦康市長や市幹部らも体を動かした。声をかけられ、飛び入りで参加した同市寺尾の町田ヤスさん(91)は「家でも風呂上がりには体操しています。運動はいいですね」と話していた。

2015年5月28日 木曜日
読売新聞

小鹿野
フォトニュース

チャレンジデー 5/27
参加率対戦結果
小鹿野町 51.7%
深川市(北海道) 56.4%



町民ハイキング 5/9(両神山)




チャレンジデーでは、剣道の国際大会に出場するため小鹿野町内で合宿をしていたマレーシアのチームにも参加いただきました。

2015年7月号 広報おがの

主 催

秩父市チャレンジデー実行委員会 (会長 久喜邦康)
市民部 市民スポーツ課
〒369-1871 埼玉県秩父市下影森 924-1
秩父市スポーツ健康センター内
TEL: 0494-25-5230 FAX: 0494-22-4770

結 果

人 口: 66,007 人
参加者数: 45,503 人
参加率: 68.9%
取得メダル: 金

埼玉県秩父市 ○
VS
岐阜県羽島市 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①総合開会式 (秩父市スポーツ健康センター) 102 人
- ②ニアピン大会 (ペタンク) (秩父市スポーツ健康センター) 90 人
- ③ラジオ体操 (秩父市スポーツ健康センター、歴史文化伝承館) 86 人
- ④室内ペタンク・卓球教室 (秩父市スポーツ健康センター) 70 人
・市の推奨スポーツである、誰でも楽しめるペタンクの初心者教室を行いました。
- ⑤民謡のつどい (秩父市スポーツ健康センター) 45 人

【アスリート・著名人など】

岡本美佳 (NHK ラジオ・テレビ体操指導者)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/病院・診療所/高齢者施設

メディア

読売新聞

広報・周知

市報や市 HP による周知や、広報車による広報活動を行いました。

製作物

チラシ 28,000 枚/スタッフTシャツ 210 枚/ポケットティッシュ 1,500 個/のぼり 20 本/横断幕・懸垂幕 1 枚

実施効果

チャレンジデーを実施することにより、町会や学校、企業等の参加があり、生涯スポーツへの意識が高まったと思われます。

担当者から

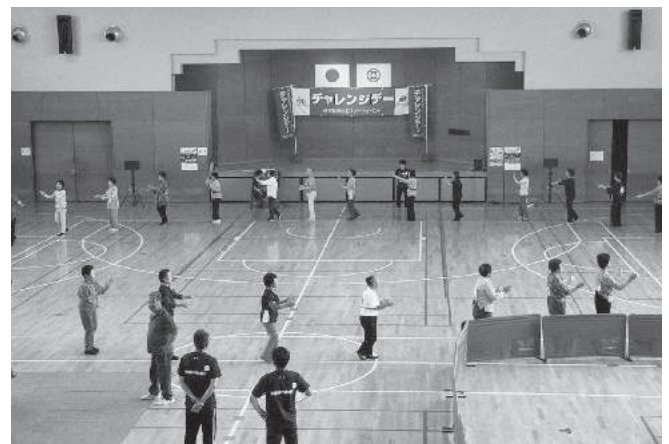
今回で6回目の実施となりましたが、市民にチャレンジデーが定着してきていると感じました。特に各町会においては、積極的な協力があります。企業や学校、福祉施設等においても「15分

運動」を実施する団体が増えてきており、習慣化が図られているところでは。

今後は、さらに広報活動を広げ、また、市民が参加し楽しめるプログラムを検討していきたいと思っております。



ラジオ体操



民謡のつどい



スポーツゴミ拾い

2015年5月28日 木曜日
読売新聞

スポーツ参加率競つ
秩父と小鹿野が参戦
チャレンジデー
人口規模がほぼ同じ自治
体が住民の運動・スポーツ
への参加率を競う「チャレ
ンジデー」が27日行われ、
秩父市が岐阜県羽島市と、
小鹿野町が北海道深川市と
それぞれ対戦した。

市では、メイン会場のスポ
ーツ健康センターでイベン
トを実施したほか、文化体
育センターや温水プールを
無料開放した。
市役所のホールでは昼休
みに職員がラジオ体操を実
施。NHKの番組に出演す
る岡本美佳さん(41)の指導
で、久喜邦康市長や市幹部
らも体を動かした。声をか
けられ、飛び入りで参加し
た同市寺尾の町田ヤスさん
(91)は「家でも風呂上がり
に体操しています。運動は
いいですね」と話していた。

市長ブログ (平成27年)



[前の記事へ](#) [記事一覧へ](#) [次の記事へ](#)

2015年5月27日 (水) チャレンジデー2015



「チャレンジデー」とは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベントです。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合います。対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚し、相手の健闘を称えるというユニークなルールが特徴です。このチャレンジデーは、今年で6回目の参加となります。昨年は、沖縄県石垣市と対戦し、皆様のご協力により、参加者45,221人、参加率67.6%で3年続けて勝利することができました。今年は、岐阜県羽島市との対戦となります。羽島市は、人口約6万8千人の市で、東は木曾川、西は長良川に挟まれた地域であります。5月22日には、羽島市の松井市長と電話でエール交換を行いました。

今回のチャレンジデー参加にあたっては、71町会から147人の協力員が、各町内の集計作業にお手伝いいただき、ほか、多くの町会でラジオ体操やベタンク大会など自主事業を行っていただいております。また、体育協会・レクリエーション協会など19の団体にも自主事業を行っていただいております。昨年に引き続いて今年も勝利し、4年連続の勝利を飾れますよう、そして、岐阜県羽島市に秩父市の旗が高々とたなびくよう、皆さんで頑張りましょう!

2015年5月27日

秩父市ホームページ

主催

いすみ市チャレンジデー実行委員会 (委員長 太田 洋)
企画政策課

〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400-1
いすみ市役所

TEL: 0470-62-1382 FAX: 0470-63-1252

結果

人口: 40,487人	千葉県いすみ市 ●
参加者数: 8,658人	VS
参加率: 21.4%	岡山県赤磐市 ○
取得メダル: 銅	

協力・連携

民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校

広報・周知

- ・チラシを作成し、広報紙の配付に合わせて全戸への配付を行いました。
- ・市役所各庁舎や公共施設をはじめ、金融機関、コンビニエンスストア等複数の店舗にもポスターを掲出してもらいました。
- ・ポケットティッシュにチラシを挟み込み配布を行いました。

製作物

チラシ 18,000枚/ポケットティッシュ 2,000個/のぼり 20本/
横断幕・懸垂幕 10枚

実施効果

住民の運動のきっかけづくりができたと思います。

担当者から

- ・全体プログラムについて、スポーツ関係者等との調整ができず、大きなイベントらしいものができなかったことが残念でした。
- ・個人の参加報告が多数あったことや、大きなトラブル、けががなかったことが良かったと思います。
- ・チャレンジデー当日に草取りや散歩、その他の運動を継続して15分以上行った方は市内にもっと多くいると思いますが、高齢化率が高いため、チャレンジデーの周知はもとより、報告方法を工夫しないと参加報告が増えないのではないかと思います。これを機に、チャレンジデー実施前よりも意識して毎日継続して運動する方が少しでも増えてくれれば良いと思います。



ロープ・ジャンプ・X (大原中学校)



リズム体操 (第1保育所)



体操 (夷隅保育所)

チャレンジデー対戦結果

5月27日(水)午前0時から午後9時まで実施されました「チャレンジデー」のいすみ市の対戦結果は、右表のとおりです。

ご参加いただきました皆様ありがとうございます。今後も身体を動かし、健康づくりに努めましょう。

今回のチャレンジデーには、全国で130の自治体が参加し、いすみ市は県内で唯一の参加でした。

自治体名	参加者	参加率	参加回数
千葉県いすみ市	8,658人	21.4%	初
岡山県赤磐市(あかいわし)	21,668人	48.4%	6回目



その他の自治体の対戦結果につきましては、笹川スポーツ財団のホームページでご確認ください。

2015年7月号 広報いすみ

住民参加型スポーツイベント

参加無料♪
レッツチャレンジ♪

チャレンジデー2015 in いすみ

合併10周年記念事業

対戦相手は
岡山県
あかいわし
赤磐市

チャレンジデーってなに?
チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されているイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合います。

どんな運動でもOK!
個人での参加(各種スポーツ・体操・散歩・ごみ拾い・掃除など)もOK! 気軽に参加してね!
当日いすみ市内にいる方なら、だれでも参加できます。

対戦相手の赤磐市は、平成17年3月7日に赤磐郡内の山降町、赤坂町、熊山町及び吉井町が合併して誕生した市で、先日、市制施行10周年を迎えました。
赤磐市は、ももやぶどうの生産が盛んで、両宮山古墳(国指定文化財)をはじめ数多くの文化財が存在し、豊かな自然に恵まれています。

15分以上運動したら電話やFAX、Eメール、裏面の参加報告シートで報告してね!

◎参加報告・お問い合わせ先
いすみ市チャレンジデー実行委員会 事務局(いすみ市役所企画政策課内)
電話: 0470-62-1382、または 080-8303-9271
FAX: 0470-63-1252 Eメール: challenge@city.isumi.lg.jp
市のホームページ http://www.city.isumi.lg.jp/

5月27日(水)
午前0時から午後9時

チャレンジデー PR 用チラシ (表面)

●市内であればいつでもどこでも♪ 当日市内にいる方ならだれでもOK!

時間	平成27年5月27日(水) 午前0時から午後9時まで
場所	通勤・通学・ウォーキング・ジョギング・犬の散歩・草取り・草刈り・買い物・ストレッチなど
どこでもOK!	15分以上継続しての運動ならOK! 個人でも団体でもOK!

報告は、当日の午前8時30分～午後9時30分まで

TEL: 0470-62-1382 または、080-8303-9271
080-8303-9272

FAX: 0470-63-1252 (下のシートを記入して送信)

E-mail: challenge@city.isumi.lg.jp

※チャレンジデー受付専用(右下のQRコードもご利用ください)
市ホームページ <http://www.city.isumi.lg.jp/> から報告
(メールの場合は、参加者と参加人数をメール送信)

平成27年5月27日(水) ★報告は1人(1団体)1回です。
チャレンジデー2015 in いすみ 参加報告シート

個人名または団体名	◎回収箱設置箇所 市役所各庁舎、各公民館 (午前8時30分～午後5時) 午後5時以降は、上記の連絡先に報告してください。
参加人数	男性 人 / 女性 人 合計 人

チャレンジデー PR 用チラシ (裏面)

主 催

昭島市チャレンジデー実行委員会 (会長 北川穰一)
昭島市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
〒196-0033 東京都昭島市東町 5-13-1
総合スポーツセンター内
TEL : 042-544-4152 FAX : 042-544-4159

結 果

人 口 : 112,659 人
参加者数 : 85,541 人
参加率 : 75.9%
取得メダル : 金

東京都昭島市 ●
VS
兵庫県豊岡市 ○

プログラム

- ①昭島市体育協会による各種スポーツ体験 (総合 SC 及び周辺施設) 3,300 人
- ②昭島市総合スポーツセンターの無料開放 (総合 SC) 678 人
- ③日体大講師による高齢者及び障害者向け体操指導会 (市内公園等及び保健福祉会館) 256 人
- ④還暦軟式野球親善大会 (市民球場) 161 人
- ⑤ゲートボール大会 (エコパーク) 80 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体

製作物

チラシ 22,000 枚／ポケットティッシュ 15,000 個

担当者から

本市の実施は、今回で4度目になり昨年を上回る参加率となりました。これは、回数を重ねる毎にチャレンジデーが浸透してきた結果だと思えます。また、いろいろな団体が協力し機運を盛り上げ、多くの方々の参加がありました。

今回は残念ながら対戦市に負けてしまいましたが、さらなる向上を目指し頑張りたいと思います。



ゲートボール大会



還暦軟式野球親善大会



日体大講師による体操指導会

健康増進、スポーツ振興、地域活性化のきっかけに

都内各地で最高気温が30度を超える真夏日となった27日、多摩地区の昭島、小金井、狛江の3市で市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2015」が開かれ、多くの市民が汗を流した。3市を合わせて今年は全国の130自治体（69市48町13村）が参加しており、少しでも多くの人に参加してもらおうと、健康増進やスポーツ振興、地域活性化のきっかけづくりを目的としている。

■参加率競い合う

チャレンジデーは世界中で行われているイベントで、人口がほぼ同様の自治体同士が5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までに15分以上スポーツをし、ラジオ体操に参加するなどして体を動かした人の割合（参加率）を競う。敗者は対戦相手の自治体旗を自治体のメー

昭島、小金井、狛江で開催
チャレンジデー 市民「快汗」



ターゲットバードゴルフに挑戦する参加者—27日、狛江市の多摩川緑地公園グラウンド（三浦恒郎撮影）

ンボールに1週間優勝して、相手の健闘をたたえる。4回目の参戦となった昭島市は兵庫県豊岡市、2回目の初挑戦の狛江市は大阪府柏原

市とそれぞれ対戦した。■雪辱に燃える

昭島市は70%台の高い参加率を達成して3連勝しており、今回は4連勝を目指して「体育協会など各種団体の協力を得て、体験教室など各種イベントを開催し、多くの市民に参加を呼びかけた」という。小金井市は昨年、参加率が25・9%にとどまって福岡県大牟田市（参加率69・8%）に完敗。今回は雪辱を期して対戦に臨んだ。

狛江市は「チャレンジデーを体を動かすきっかけにしてほしい」との狙いで初参加。バドミントンの羽をつけたボールを使うターゲットバードゴルフに挑戦した高橋都都市長は「大変おもしろかった」と感想を語っていた。

勝敗が判明するのは同日深夜の見込み。参加率の算出は、実際にスポーツを行った人や団体からの報告に基づくため、このルールを住民に周知する広報ができたかどうかも問われることになる。

2015年5月28日 木曜日 産経新聞

【トップインタビュー】 ◇「元気都市」のまちづくり＝北川穰一・東京都昭島市長

キャッチフレーズに「元気都市あきしま」を掲げる東京都昭島市（11万2700人）の北川穰一市長（きたがわ・じょういち＝71）。そのためには「人もまちも自然も健康で健全でなければならない」と力を込める。

健康づくりの一環として、市は2012年から「チャレンジデー」に参加している。チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されるカナダ発祥の市民スポーツイベント。午前0時から午後9時までの間に15分以上スポーツや運動をした人の割合（参加率）を、人口規模がほぼ同じ自治体同士で競い合う。14年は72・8%を記録し、「7万人以上25万人未満」の部で3年連続金メダルを獲得した。

「市民の健康がまちの健康につながるほか、社会保障費の削減、そして市内のスポーツ団体はじめ各種団体や企業に参加を呼び掛けるという動きが、行政との距離を縮める手段にもなって非常にいい」と分析。今後も継続とさらなる浸透を図っていきたいと語る。



時事ドットコム

主 催

小金井市チャレンジデー実行委員会 (会長 稲葉孝彦)
 小金井市教育委員会生涯学習部生涯学習課
 〒184-8504 東京都小金井市前原町3-41-15
 小金井市役所第二庁舎7階
 TEL: 042-386-2462 FAX: 042-383-1133

結 果

人 口: 117,440 人	東京都小金井市 ●
参加者数: 88,278 人	VS
参加率: 75.2%	鹿児島県霧島市 ○
取得メダル: 金	

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操 (都立小金井公園) 333 人
- ②セパタクロール見学&体験会 (総合体育館) 100 人
 - ・前年に行われたアジア大会 (韓国・仁川) で3位の成績を残した日本代表選手の寺本選手、青木選手によるセパタクロールの実技を見学&体験できるイベントを行いました。子ども達を中心に興味、関心を集められると期待して準備しました。当日は、選手達による実技披露、実技指導、試合形式のゲームなどを行い、大変盛り上がりしました。
- ③ウォーキングイベント (フェスティバルコート〜滄浪泉園〜都立武蔵野公園) 70 人
- ④ラジオ体操 (フェスティバルコート) 60 人
- ⑤ラジオ体操 (東小金井駅北口広場) 50 人

【アスリート・著名人など】

寺本 進・青木沙和 (セパタクロール日本代表 / 2014年アジア大会 (韓国仁川) 第3位)

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 大学・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

広報・周知

チラシ、ポスターの作成、配布、掲出、横断幕・懸垂幕の掲出、市報、市ホームページなどで広報をしました。一番効果的と思えたのは地道に市内団体の活動場所及び会議、打合せの場所を訪問し、チラシに市長の依頼文書を添えて直接協力依頼したことでした。

製作物

チラシ 51,000 枚 / ポケットティッシュ 5,000 個 / のぼり 70 本 / 横断幕・懸垂幕 7 枚

実施効果

本市がチャレンジデー事業の目的として掲げている「スポーツの習慣化」、「生涯スポーツの推進」及び「健康寿命の延伸」に繋がる契機となりました。チャレンジデー当日のみの運動やスポーツへの取り組みではなく、日常生活の中で習慣化できれば「健康寿命の延伸」に繋がっていくことができると思います。

また、当日は 88,278 人もの方々の参加があり、対戦相手の鹿児島県霧島市に勝利しようという目標を参加者と共有できました。

担当者から

今回が2回目の挑戦であるため、昨年よりは準備も効果的に実施できたと思います。しかし、5月27日(水)当日に向けて、4月からの準備開始となり、実行委員会、普及・広報活動など大変でした。中でも一番苦労したことは、協力依頼を総合型地域スポーツクラブ、体育協会、スポーツ推進委員協議会、総合体育館指定管理者などと手分けして行ったことでしたが、この地道な活動が最も効果があったと思います。昨年の経験を踏まえ、より組織的、効果的に事前の準備ができたと思います。

良かった点としては、チャレンジデーを知っている市民が昨年より増えたと実感できたことです。昨年は初回ということもあり、「チャレンジデーって何?」という反応が多く見られましたが、今回は、「今日はチャレンジデーだよ!」、「報告しました」、「対戦相手の霧島市に勝とう!」といった声を聞いたりしました。市民に着実にチャレンジデーが根付いていることを実感できる瞬間でした。



ラジオ体操 (フェスティバルコート)



ラジオ体操 (フェスティバルコート)

参加率アップ 小金井市受賞

自治体が体を動かした住民の参加率を競った27日のイベント「チャレンジデー」で、主催した笹川スポーツ財団は28日、前年比で参加率が最も上がったのは小金井市だったと発表した。25・9%から75・2%に49・3%上昇した。市には後日、財団から「参加率アップ賞」の記念の盾が贈られる。

稲葉孝彦市長は28日の定例記者会見で、「参加者が増え、一定の成果があった。これをきっかけに多くの市民が日頃から運動する習慣を身につけてほしい」と述べた。イベントには全国130市町村が参加し、都内からは小金井、狛江、昭島市が挑戦した。

2015年5月29日 金曜日 読売新聞

チャレンジデー 狛江で汗

運動参加率 初挑戦は18%低調

人口が同じ規模の自治体が運動した住民の割合を競うイベント「チャレンジデー」が27日、全国130市町村が参加して行われ、都内からは小金井、狛江、昭島市が挑戦した。初参加した狛江市の参加率は18・3%と低調で、対戦相手の大阪府柏原市の68・2%には及ばなかったが、市民は心地よい汗を流していた。



輪投げをする狛江市民（27日）

チャレンジデーは、1993年から行われている。午前0時〜午後9時に、15分以上継続して運動した住民の割合を競う。年齢を問わず気軽に参加できるのが、住民の健康増進や地域交流につながるイベントとして広まっている。

狛江市では、市民総合体育館などで、市民が卓球などをして体を動かした。岩戸地域センター（岩戸南2）では、地域に住む高齢者の会「あつま会」の21人（68〜89歳）が、輪投げ

を楽しんだ。会長の藤澤澄子さんは「みんな楽しんでながら体を動かし、とてもよい日になった」と笑顔を見せた。市の担当者は「負けは残念だけれども、来年はもっと良い成績を出せば」と話した。

昨年に続く出場2回目の小金井市は参加率75・9%、4回目の挑戦となった昭島市は76・9%で、いずれも対戦相手の鹿児島県霧島市、兵庫県豊岡市に惜敗した。

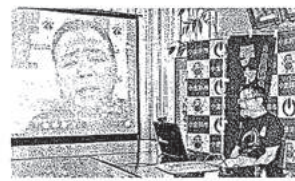
2015年5月28日 木曜日 読売新聞

ネット電話でエール交換

小金井市と霧島市

小金井市の稲葉孝彦市長は18日、今月27日に行われるチャレンジデーで対戦相手となる鹿児島県霧島市の前田終止市長とネット電話でエールの交換をした。

チャレンジデーは（公財）笹川スポーツ財団が主催。人口規模が同程度の自治体間で15分以上継続して何らかの運動やスポーツに取り組んだ住民の参加率を競い合う。小金井市の参加は昨年同様、同じく27日のためにも同じく2回目の霧島市と競うことになった。小金井市



対戦相手の鹿児島県霧島市の前田市長（画面左）と話す稲葉小金井市長（小金井市役所）

の初の参加率は25・9%、霧島市は57・8%で、「相手は強豪」（小金井市）。

前田市長が（当市は）6003平方キロの山あり谷ありの大きな市。汪洋として人が住んでいてもまごまごといと打ち明けて、稲葉市長は「こちらは人口密度は高いが、よまからの出入りも多い。27日はみんな頑張ってください」。元気な市民づくりのために互いの健闘を誓い合った。

チャレンジデーは、都内では小金井市のほか、今年で4年連続となる昭島市と今年が初めて狛江市が参加している。

2015年5月26日 火曜日 都政新報



JR 東小金井駅北口でのラジオ体操

主 催

狛江市チャレンジデー実行委員会 (会長 高橋都彦)
 狛江市教育委員会教育部社会教育課
 〒 201-8585 東京都狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号
 狛江市役所
 TEL : 03-3430-1111 FAX : 03-3430-1600

結 果

人 口 : 79,027 人	東京都狛江市 ●
参加者数 : 14,499 人	VS
参加率 : 18.3%	大阪府柏原市 ○
取得メダル : 銅	

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①卓球 (市民総合体育館) 196 人
- ②グラウンド・ゴルフ (狛江市民グラウンド) 127 人
- ③ビーチボール (市民総合体育館) 124 人
- ④バドミントン (市民総合体育館) 117 人
- ⑤健康づくり講話・ミニ体操 (市役所・防災センター会議室) 69 人
 - ・ 日常生活の運動による健康づくりに関する講話と、椅子に座りながらでもできるミニ体操やストレッチ運動を行う一時間のプログラムです。仕事や自宅で行える簡単な運動であり、運動不足解消のきっかけにもなります。また、簡単な頭の体操としてクイズ等のレクリエーション的な要素も取り入れました。昼休みの時間帯には、職員を対象にした 15 分間の実技のみのショートプログラムも実施し、狛江市長はじめ職員、市民など幅広い年代の方の参加がありました。

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／障害者団体／社会福祉協議会／高齢者施設

メディア

産経新聞／読売新聞／NHK「首都圏ネットワーク」

広報・周知

市広報誌やホームページに加え、新聞折込や各種会議会合でのアピール、また、各種団体を訪問し参加協力依頼を行いました。さらに当日は、駅前でのチラシ配り、防災行政無線や広報車での参加呼びかけを実施しました。

市広報誌やホームページでの広報を実施後、各種会議会合でのアピール、各種団体訪問をしましたが、意外と浸透しておらず、当日に参加報告をあげてくれた団体は、直接訪問した団体がほとんどであったことから、直接顔を合わせて広報することの大切さを改めて学びました。

製作物

チラシ 35,000 枚／のぼり 60 本／横断幕 20 枚／懸垂幕 2 枚／ポスター 40 枚

実施効果

スポーツ人口増加へ向けた「きっかけづくりの場」となりました。また、普段関わりの少ない団体や事業所などにも協力依頼をしたことにより、新たなつながりをもつことができました。さらに、対戦相手の大阪府柏原市のことを知るよい機会となりました。

担当者から

初挑戦ということもあり、「チャレンジデー」というイベントを浸透させることに苦慮しました。主に学校や団体へ参加協力依頼を行いました。大きな企業や学校が少なく、今後、参加者数を伸ばすためには、個人での参加に力を入れなくてはと感じています。まだまだ一部の市民にしか周知が行き届いていない現状を踏まえ、次回へ向け「スポーツ人口を増やす」「健康寿命の延伸」を目標に、さらなる参加率上昇のために力を入れて行きたいです。



ビーチボール



健康づくり講話・ミニ体操

チャレンジデー 狛江で汗

運動参加率 初挑戦は18%低調

人口が同じ規模の自治体が運動した住民の割合を競うイベント「チャレンジデー」が27日、全国130市町村が参加して行われ、都内からは小金井、狛江、昭島市が挑戦した。初参加した狛江市の参加率は18.3%と低調で、対戦相手の大阪府柏原市の68.2%には及ばなかったが、市民は心地よい汗を流していた。



輪投げをする狛江市民（27日）

チャレンジデーは、1993年から行われている。午前0時5分午後9時に、15分以上継続して運動した住民の割合を競う。年齢を問わず気軽に参加できるのが、住民の健康増進や地域交流につながるイベントとして広まっている。

狛江市では、市民総合体育館などで、市民が卓球などをして体を動かした。岩戸地域センター（岩戸南2）では、地域に住む高齢者の会「あづま会」の21人（88・89歳）が、輪投げを楽しんだ。会長の勝瀬澄子さん（79）は「みんなで楽しみながら体を動かし、とてもよい日になった」と笑顔を見せた。市の担当者は「負けは残念だけれども、来年はもっと良い成績を出せば」と話した。

2015年5月28日 木曜日 読売新聞

健康増進、スポーツ振興、地域活性化のきっかけに

昭島、小金井、狛江で開催 チャレンジデー 市民「快汗」



ターゲットバードゴルフに挑戦する参加者—27日、狛江市の多摩川緑地公園グラウンド（三浦常徳撮影）

市内をそれぞれ対戦した。昭島市は70.5%の高い参加率を達成して、連勝しており、今回は4連勝を目標として、体育館など交通利便の良さを活かし、体験教室など各種イベントを開催し、多くの市民に参加を呼びかけたという。小金井市は昨年、参加率が25.9%にとどまっていた。昭島市、多摩市、狛江市はそれぞれ対戦に臨んだ。狛江市は、チャレンジデーを体を動かさずにつけてほしいとの思いで初参加。バドミントンの羽をとりながら、ターゲットバードゴルフを通じて健康増進を希望を語っていた。

2015年5月28日 木曜日 産経新聞

「来年はもっと参加を」

チャレンジデー 昭島など3市敗退

全国130自治体が参加した市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」2015に挑戦した昭島、小金井、狛江の3市は、それぞれ対戦相手の自治体に敗れ、28日、相手自治体旗を自ら掲げた。1週間掲揚してラケットの健康をたためるチャレンジデーは人口がほぼ同規模の自治体同士が5月の最終水曜日（今年は27日）の午前0時から午後9時までに15分以上スポーツをし、ラジオ体操、ウォーキングなどで体を動かした人の割合（参加率）を競う。昭島市の参加率は75.9%で昨年より3.1%上昇したものの、対戦相手の兵

2015年5月29日 金曜日 産経新聞



グラウンド・ゴルフ

主催

伊勢原市チャレンジデー実行委員会 (委員長 高山松太郎)
教育委員会スポーツ課

〒259-1188 神奈川県伊勢原市田中348番地
伊勢原市役所

TEL: 0463-94-4711 FAX: 0463-94-7615

結果

人口: 100,913人
参加者数: 49,421人
参加率: 49.0%
取得メダル: 銀

神奈川県伊勢原市 ●
VS
山形県鶴岡市 ○

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①市内小中学校各イベント (各小中学校) 7,686人
- ②オープニングセレモニー みんなで体操「すこやかリズム体操」
(伊勢原市総合運動公園 中央広場) 300人
 - ・伊勢原市では、昭和63年に「だれでも、いつでも、どこでも」気軽に行うことができる体操として、「すこやかリズム体操」を制作しました。制作してから年月は経っておりますが、ご当地体操ブームも相まって、伊勢原市では幼児から高齢者まで取り組める本体操を再普及することで、市民の健康増進につなげたいと考えています。そこで体操の考案者であり、NHK体操番組の講師であった長野信一さんをお迎えし、チャレンジデーオープニングからこの体操を行うことで、普及の拡大に繋げることができればと思います、実施しました。
- ③市民グラウンド・ゴルフ大会 (伊勢原市総合運動公園内) 120人
- ④マンスリーウォーキング (伊勢原市総合運動公園スタート・ゴール) 108人
- ⑤骨密度測定 (伊勢原市体育館) 80人
- ⑥みんなでおどろう「すこやかリズム体操」 (伊勢原市体育館) 80人

【アスリート・著名人など】

長野信一 (ラジオ体操指導者 NHK等に出演)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会

メディア

神奈川新聞/読売新聞/毎日新聞/朝日新聞/伊勢原タイム/ J: COM「デイリーニュース」/ FM湘南ナパサ「伊勢原かわら版」/タウンニュース

広報・周知

多くの人が通る駅に、目につきやすい大きな吊るし看板を2個

設置したり、帰宅時間を狙って市内2カ所の駅でチラシを配りました。

また、市役所の職員は本来であればTシャツでの業務は禁止されていますが、チャレンジデーまでの1週間の間はチャレンジデーTシャツを着用しての業務が許可され、多くの職員が着用し市民へのPRを図りました。

製作物

チラシ45,000枚/ポスター (B2) 300枚/イメージキャラクター
クルリンクリアファイル5,000枚

実施効果

前回のチャレンジデーを機にラジオ体操等を始めた自治会が今も継続して行っており、今回のチャレンジデーにも参加していましたが、その成果を垣間見ることができました。また、市のオリジナル体操である「すこやかリズム体操」をチャレンジデーのプログラムに組み込みましたが、チャレンジデー後に体操のCDやDVDの貸し出しが増えるなど、体操の普及に繋がりました。

伊勢原市では、「スポーツによる地域の活性化と市民の健康づくり」を重点施策のひとつに掲げていますが、チャレンジデーの実施によってその施策に全庁をあげて取り組むことができたと感じております。

担当者から

今回は2回目の挑戦で、前回よりはチャレンジデーの認知度がある中での実施となりました。その結果、昨年よりも多くの市民、企業、団体に協力を頂き前回より1万人も多くの参加がありました。敗戦はしましたが、市民の健康づくり、運動・スポーツの習慣化のきっかけづくりの観点から考えれば、大変有意義な実施でした。イベント内容やプログラムの組み方、市民への周知方法等反省すべき点はありますが、参加した市民が大勢増えたことを前向きに捉えたいと思います。

スポーツは継続することが大切だと考えておりますので、今後も市をあげて市民が継続してスポーツを続けていけるよう、事業を展開していきたいと考えております。



オープニングイベント

チャレンジデー
1日運動15分を
5月27日 参加率50%めざす

掲載号：2015年5月8日号

全国の自治体同士が、1日15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率を競う住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が5月27日（水）に開催される。2度目の挑戦となる伊勢原市は、山形県鶴岡市と対戦する。

全国で130自治体、県内からも10自治体が参加を予定するチャレンジデー。

このイベントは（公財）笹川スポーツ財団が1993年から定期的な健康づくりとスポーツ振興などを目的にコーディネートしているもの。集まった参加自治体の中から規模の近い自治体が対戦相手に選ばれ、午前0時から午後9時までに15分以上の運動した市民（在勤・在学者も含む）の参加率で勝敗が競われる。負けた自治体は相手自治体の旗を市庁舎のメインホールに1週間掲揚する。

伊勢原市は初参加となる昨年、長崎県大村市と対戦。参加目標を40%に設定し、市内でイベント等を実施するも参加者は39268人（39%）に留まり、59684人（63・5%）を記録した大村市に敗れている。

2回目の挑戦に向けて、「いきいき健康 たいすき伊勢原」テーマに掲げた市では、参加率50%を目標に設定し、様々なイベントを企画、準備を進めている。

当日は、午前8時30分に市総合運動公園でオープニングセレモニー、グルリンも登場する。そのまますで午前9時半から、再普及をめざす「すこやかリズム体操」の体操創作者でNHKラジオ体操の指導を務めた長野信一氏を招いた練習会も実施。また誰でも気軽に参加できるように市内公立小中学校で運動イベントが実施されるほか、公民館や体育館、野球場などでイベントが用意される。

運動報告は自己申告制。イベント以外で時間内に15分以上の運動をした場合は電話やFAX、市ホームページなどで申告する。

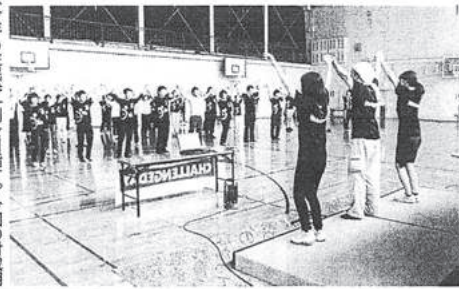
問い合わせは市役所／【電話】0463・94・4711スポーツ課



2015年5月8日 金曜日
タウンニュース 伊勢原版

2015年5月26日 火曜日
毎日新聞

初勝利へ再「チャレンジ」
伊勢原市 27日に参加型スポーツ行事



伊勢原市は今年も住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加する。27日は、山形県鶴岡市と対戦する。昨年に続き2回目、初勝利を目指す。今回の対戦相手は山形県鶴岡市。決戦は27日だ。チャレンジデーとは健康づくりに取り組む自治体同士が、1日15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率を競う住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が5月27日（水）に開催される。2度目の挑戦となる伊勢原市は、山形県鶴岡市と対戦する。

昨年のチャレンジデー「H.K.ラジオ体操指導者の長野信一さんを招き、市総合運動公園で練習会を開催。市内の小中学校でも団体操などを実施する。市は「こうしうにか初勝利を手にしたい」と意気込んでいる。運動は運動通学、買い物なども入り、報道は自己申告。市内には観光客でもカウントされる。電話、FAX、公共施設にある報告シートで報告する。問い合わせは、市スポーツ課（0463・944711）内線5050。

△体操の創作で、元NHKラジオ体操指導者の長野信一さんを招き、市総合運動公園で練習会を開催。市内の小中学校でも団体操などを実施する。市は「こうしうにか初勝利を手にしたい」と意気込んでいる。運動は運動通学、買い物なども入り、報道は自己申告。市内には観光客でもカウントされる。電話、FAX、公共施設にある報告シートで報告する。問い合わせは、市スポーツ課（0463・944711）内線5050。

2015年5月12日 火曜日 神奈川新聞

チャレンジデー：山形県鶴岡市に伊勢原市エール あす / 神奈川

毎日新聞 2015年05月26日 地方版

スポーツによる市民の健康づくりや運動習慣づくりを目指して自治体同士が競うイベント「チャレンジデー」（笹川スポーツ財団主催）に参加する伊勢原市が、27日の大会に先立ち、対戦相手の山形県鶴岡市にエールを送った。

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時～午後9時の間に15分以上継続して運動やスポーツなどをした住民の参加率を競い合う。敗れた自治体は、相手自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚する。

今年是全国で130自治体、県内からは座間市や寒川町など計10自治体が挑戦する。伊勢原市の参加は昨年に次いで2回目。

伊勢原市は昨年、長崎県大村市と対戦したが、参加率は39%にとどまり、大村市の63・5%に大差で敗れた。このため今年には市内の各小中学校を拠点に、住民と子供たちが1000人規模で参加できるリズム体操などを実施し、初勝利を目指すという。【長真一】



神社ラジオ体操



フィナーレイベント

主催

大井町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 間宮恒行)
子育て健康課

〒 258-0019 神奈川県 足柄上郡大井町金子 1964-1
大井町保健福祉センター

TEL : 0465-83-8011 FAX : 0465-83-8016

結果

人口 : 17,350 人	神奈川県大井町	○
参加者数 : 8,033 人	VS	
参加率 : 46.3%	北海道富良野市	●
取得メダル : 銀		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操 (大井小学校) 670 人
- ②大縄跳び (湘光中学校) 594 人
- ③企業での取り組み (ラジオ体操他) (第一生命情報システム株式会社) 494 人
- ④オープニングイベント (ラジオ体操) (大井町総合体育館) 114 人
 - ・ 実行委員長挨拶
 - ・ 対戦相手の紹介 (パワーポイント)
 - ・ 町イベントの紹介 (パワーポイント)
 - ・ ラジオ体操の実施 (前後のストレッチ等含む)
 - ・ 参加賞の配布とエントリーボックスの配布
- ⑤誰でもできるエアロビ体操 (大井町総合体育館) 74 人

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 社会福祉協議会 / 高齢者施設 / 母子保健推進員 / ひょうたん文化推進協議会 / 「おーい!元気会」運営サポーター

メディア

神奈川新聞 / 神静民報 / タウンニュース / 湘南ケーブルテレビ

広報・周知

広報、チラシ : 広報おおい 4・5 月号に 1 ページずつ掲載し、参加を促しました。また、5 月 15 日号の配布に合わせてチラシ (10,000 部) を全戸配布しました。併せて窓口や店頭などにも配架しました。

エントリーボックス : 町内 38 カ所にポスター、チラシ、のぼりも一緒に設置しました。町内に設置したエントリーボックスは、役場職員の手作りのもので、個性あふれる作品になりました。

ポスター : 町内の全ての自治会、行政関係施設、学校、幼稚園や各企業にポスターを配布し、掲示板や店頭に掲示しました。

T シャツ : 各自治会長、実行委員、企業、町職員に配布し、当日着用のうえイベントに参加し PR しました。担当課の町職員

は 2 週間前から、窓口など町民と接する機会の多い部署などでは 1 週間前から T シャツを着用し PR しました。また、体育祭など他の事業でも T シャツを着用して参加し、PR をしました。

町内周知 : 1 週間前から公用車で放送しながら町内を回り、PR しました。当日の朝に防災無線及び安心メールを活用し、町内全域に放送しました。のぼりを学校、町関係施設、町道、商工振興会会員店舗など約 100 カ所設置しました。

製作物

チラシ 10,000 枚 / スタッフ T シャツ 193 枚 / のぼり 150 本 / 横断幕・懸垂幕 19 枚

実施効果

当初参加率 30% を超えることができればよいと思っていたので、参加者が 8,000 人を超え、参加率 46.3% であったことは、予想を超えた嬉しい結果でありました。

また、町内企業等の参加が全体のエントリーのうち 27.0% を占めていたので、5 月になってから、企業等へ参加依頼をした周知活動の割には効果があったと思われます。

担当者から

チャレンジデーへの挑戦が決定したのが 2 月ということから、周知活動が短期間になってしまい、PR 不足を指摘されていました。しかし、結果として 8,000 人を超える方々の参加があり、初実施初勝利を収めることができたことは、大変良かったと思います。町民のチャレンジデーに対する意識が予想以上に高かったと思われます。次回以降、健康づくりの意識付けとなるような働きかけも検討していきたいと思えます。

また、通勤通学者の参加を期待して、町内にある無人駅 2 カ所にエントリーボックスを設置をしたところ、2 カ所合計で 100 人を超える報告がありました。これも予想を上回る報告数でした。

エントリーボックス設置については広報やチラシ、ポスターに設置場所を記載しましたが、設置時間を記載しなかったため多くの町民が 21 時まで設置してあると思っていたようで、早めに回収した設置場所については問い合わせがありました。再配置を行った場所もありますが、次回以降設置時間等の周知について検討していきたいです。



オープニングイベント

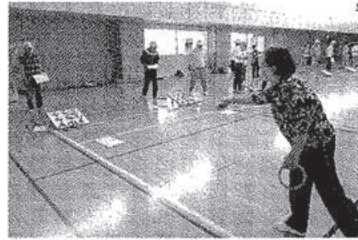
老若男女いきいきと

大井町 チャレンジデー初参加

対戦相手の自治体と住民らのスポーツ参加率を競うチャレンジデー2015（日本事務局・笹川スポーツ財団）が27日、全国一斉に行われた。初参加の大井町でも総合体育館などで中高年や親子連れが思い思いの運動を楽しんだ。

大井町の対戦相手は、北海道富良野市。5回目の参加となる同市（人口2万3244人）の昨年の参加率は47・4%。対する大井町（同1万7350人）は55%を目標としている。

この日は午前中、総合体育館で開かれた輪投げ大会に町内10地域から約90人が参加。的に向かって3メートル



①的を自掛けて輪を投げる参加者②ひもを使った母子の汽車ぽっぽこ③大井町総合体育館

2015年5月28日 木曜日 神奈川新聞

体を動かして勝利目指す

大井・松田 町内各地の老人会員ら



輪投げ大会に出場し、体を動かす参加者ら（大井町）

上郡の組み合わせ。総合体育館を拠点に、大井町・北海道富良野市、松田町・秋田県大館市やアロハ体操クラブ、青森県藤崎町、大井町、山北町は初参加。【大井町（開成町）】

町内各地の老人会員ら90人が参加。1から9点の点数が割り振られたのを目指し、リングを投げる。3、4歳の子どもが、親の腕で投げ、それをその距離で獲得した選手の累積得点を決めた。

勝つを動かす簡単なゲームだが、参加者は得点を狙い、一度ひきを曲げてから勢いを付けて投げるなど、全身を使って挑戦。一見したことのないゲームだが、良い運動となる。と汗をかきながら話した。

未就学児の親子を対象とした「小さいお子さん」種には、音楽に合わせて運動。手を動かしたり、コミュニケーションを深めながら取り組んだ。

1日のフィナーレには、来場者全員でのひょうたん踊り。親子を繋いで、にぎやかにイベントを締めくくった。

人口が同様の自治体が対戦し、住民の参加率で勝敗を決める「スポーツ」チャレンジデーが28日、全国で一斉に実施された。県西部の足柄上郡からは、大井・松田・山北・開成の4町が参加。異なるとは思えない晴天に恵まれた中、各町では趣向を凝らしたさまざまな運動イベントがあり、幅広い世代の男女が元気よく体を動かした。主催は笹川スポーツ財団（東京都港区）。※足柄下郡2町（真鶴、湯河原）の結果などは29日付以降に掲載

2015年5月28日 木曜日 神静民報



夕暮れウォーキング



ファイナルイベント

主 催

開成町チャレンジデー実行委員会 (会長 府川裕一)
自治活動応援課
〒 258-8502 神奈川県足柄上郡開成町延沢 773
TEL : 0465-83-2331 FAX : 0465-82-5234

結 果

人 口 : 16,814 人	神奈川県開成町 ●
参加者数 : 8,156 人	VS
参加率 : 48.5%	青森県藤崎町 ○
取得メダル : 銀	

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①長縄跳び (開成町立開成南小学校) 607 人
- ②大縄跳び (神奈川県立吉田島総合高校) 564 人
- ③リズム体操 (開成町立開成幼稚園) 428 人
- ④ウォーキング草刈 (あじさい農道) 274 人
- ⑤パークゴルフ大会 (開成水辺スポーツ公園) 237 人
 - ・パークゴルフ用品メーカーの本間ゴルフの冠大会をチャレンジデー当日に誘致しました。開成町は、関東ではじめてパークゴルフ場ができた自治体であり、通年本競技の普及に努めています。その競技をチャレンジデー当日に行うことで町民に対してチャレンジデーの浸透を図り、大会参加者のみならず、家族や友人への広がりも期待しています。

【アスリート・著名人など】

桜田敬子 (ラジオ体操指導委員・元 NHK ラジオ体操アシスタント)

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園 / 保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所 / 企業 / 商工会 / 青年会議所 / 自治会 / 町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院 / 診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

メディア

タウンニュース

広報・周知

- ・町広報誌へ 3 ヶ月連続した掲載
- ・防災行政無線を活用した周知
- ・街頭での啓発活動
- ・チラシ、ポスターのデザイン一新

製作物

チラシ 6,000 枚 / スタッフ Tシャツ 80 枚 / ポケットティッシュ 1,500 個 / のぼり 50 本 / 横断幕・懸垂幕 20 枚 / 公用車マグネット 10 個

実施効果

開成町としては今回の挑戦で 2 回目となります。本年度は、昨年度と比較し参加者が 2,070 人減少しました。しかしながら、当日には 8,156 人もの方が参加し、スポーツやそれぞれができる身体活動を行うことができました。今回の結果は残念ですが、今後一人でも多くの方にチャレンジデーの実施について知ってもらい、意識的に体を動かすことで最終的に町としての目標である「日本一元気・日本一健康・日本一きれいな町」の更なる推進につなげたいと考えています。

担当者から

チャレンジデーという事業を町民に知ってもらうことが何より苦労しました。今後一人でも多くの方に知ってもらい、参加してもらえるよう早めの周知、魅力あるイベントの展開をしていきたいと考えています。



ソフトボール投げ NO.1 決定戦



パークゴルフ大会 (本間カップ)



リズム体操

開成町の昨年の様子



今年、開成町が参加する「チャレンジデー」は5月27日(水)に開催される。今年、開成町が参加する「チャレンジデー」は5月27日(水)に開催される。今年、開成町が参加する「チャレンジデー」は5月27日(水)に開催される。

今年、開成町が参加する「チャレンジデー」開催迫る

全国的に開成町が参加する「チャレンジデー」は5月27日(水)に開催される。今年、開成町が参加する「チャレンジデー」は5月27日(水)に開催される。

開成町の昨年の様子。開成町の昨年の様子。開成町の昨年の様子。開成町の昨年の様子。開成町の昨年の様子。

1日15分の運動をして
開成町チャレンジデー2015
に参加しよう!

5月27日(水) 0時~21時

15分間、スポーツしよう!

チャレンジデーってどう参加するの?

町内で、15分以上体を動かします。例えば、ウォーキングや縄跳び、家の大掃除でもOKです。自分がやりたい運動をしましょう。その運動をエントリーシートに記入し、公共施設に設置されたエントリーボックスに投票するだけです。

エントリーボックスの設置場所
●開成町公民館、福祉会館、功徳会館
●開成水辺スポーツ公園、地域集会所等

2015年5月16日 土曜日 タウンニュース 足柄版

2015年5月1日 金曜日 広報かいせい

足上4町が出場

全国チャレンジデー

5月27日に全国一斉に開催されるスポーツイベント「チャレンジデー」に、足柄地域から大井町、開成町、松田町、山北町が出場する。今年、開成町が参加する「チャレンジデー」は5月27日(水)に開催される。

2015年3月7日 土曜日
タウンニュース 足柄版

5/27(水) 対戦結果

実施回数	8回	対戦結果	2回
人口	15,598人	人口	16,814人
参加者	9,156人	参加者	8,166人
参加率	58.7%	参加率	48.5%

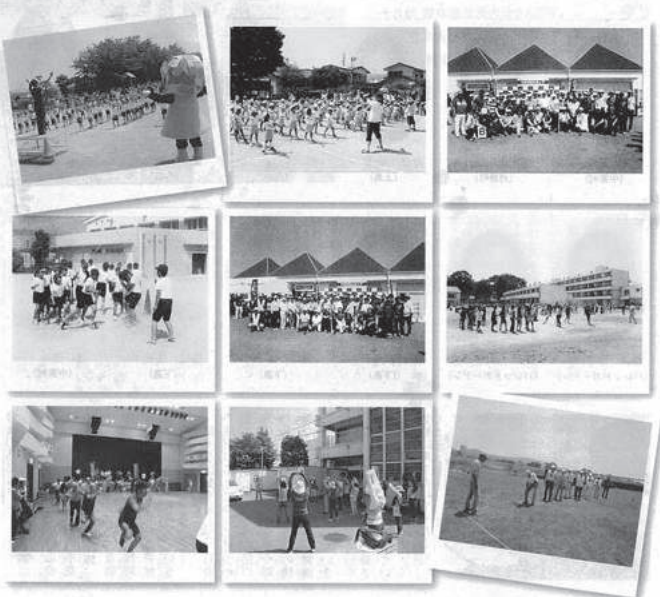
対戦結果は残念ながら藤崎町に及ばず銀メダル獲得!

開成町チャレンジデー2015

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に開催され、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツなどの身体活動を行った住民の「参加率」を競い合う、対戦型のイベントです。

5月27日当日は、町内で様々な運動や活動が行われました。参加者の皆さん、ありがとうございました。

これをきっかけに体を動かすことを習慣にして、みんなで日本一元気な町にしていきたいです。



2015年7月1日 水曜日
広報かいせい

主 催

寒川町チャレンジデー 2015 実行委員会 (実行委員長 木村俊雄)
健康子ども部 健康・スポーツ課

〒 253-0196 神奈川県高座郡寒川町宮山 165
寒川町役場

TEL : 0467-74-1111 FAX : 0467-74-5613

結 果

人 口 : 48,139 人	神奈川県寒川町 ●
参加者数 : 14,915 人	VS
参加率 : 31.0%	富山県南砺市 ○
取得メダル : 銀	

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①町長と一緒に早朝ラジオ体操 (さむかわ中央公園芝生広場) 163 人
 - ・幅広い年代の方が知っているラジオ体操をメインに実施しました。
 - ・今後の習慣化を目指し、ラジオ放送の時間に合わせて実施しました。
 - ・各種団体での実施を呼びかけました。
- ②子どもサッカー教室 (寒川町総合体育館メインアリーナ) 71 人
- ③ファイナルイベント (さむかわ wakuwaku 体操) (寒川町総合体育館メインアリーナ) 65 人
- ④ベビービクス (寒川町総合体育館武道場) 59 人
- ⑤卓球体験 (寒川町総合体育館メインアリーナ) 57 人

【アスリート・著名人など】

湘南ベルマーレ (サッカー J1 リーグ)

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設／民生委員協議会

メディア

tvk テレビ神奈川「ありがとッ！／tvk ニュース 930α」

広報・周知

- ・高齢者・障害者施設、企業等の団体にチラシ配布や説明を行ったことで、団体実施の協力が得られ、また、生活の中に運動を取り入れる啓蒙活動ができました。
- ・駅頭では、ポスターで作成したサンドイッチマン看板を使用し、毎回 4 人で宣伝活動を行いました。2 日間、朝・夕各 1 時間ずつ実施し、不特定多数の町内外の方に周知できました。
- ・多くの人が利用する、スーパーマーケットや多数のコンビニエンスストア、商店からポスター掲示やチラシを置く協力が得られ、様々な方に周知できました。

製作物

チラシ 30,000 枚／スタッフ T シャツ 85 枚／ポケットティッシュ 5,000 個／のぼり 60 本／横断幕・懸垂幕 20 枚

実施効果

- ・公園で実施する自主グループの活動に合わせて、実行委員会イベントのラジオ体操を実施し、いつでも、どこでも、誰でもできる体操として再認識されました。
- ・初挑戦で、町民ひとり一人への内容周知が十分ではなく、「何をすればよいのかわからなかった」「もっと早く周知してほしい」など質問や要望が実施前後に多数寄せられました。また、結果を見て、「来年は勝ちたい！」などの声もあり、実施したことでの周知は図られました。
- ・ベビービクスや親子体操など乳幼児期からのイベントを実施したことで、子育て世代が地域の行事に参加する機会となりました。

担当者から

- ・今回は初挑戦で、準備期間、周知期間が短く、特に個人への周知が十分でなかったことを反省しています。しかし、質問や要望も多数あり、これは興味があるからだと考えられ、次年度への足がかりとして、活かしていきたいと思っています。
- ・参加した方からは、「15 分間の運動ってどのくらいかわかった」との声があり、生活の中に運動を取り入れるきっかけづくりになったと思います。
- ・回収箱の設置場所に苦勞し、最終的に決定したのが、約 10 日前と遅く、設置場所をチラシに載せられませんでした。回収箱は、公共施設の他、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、商店等で計 38 ヲ所としましたが、設置場所や設置数について再検討していきたいと思っています。



町長と一緒に早朝ラジオ体操



フラダンスでリフレッシュ！

寒川町

チャレンジデーに初参戦

住民総参加型イベント

運動の習慣化が目的



全国で130自治体、県内からも10自治体に参加するなど、年々規模が大きくなっているチャレンジデー。このイベントは（公財）笹川スポーツ財団が1993年から日常的な健康づくりとスポーツ振興などを目的にコーディネートしているもの。テーマは「スポーツの力で地域の輪を広げよう」で、運動の習慣化と地域の絆づくりのきっかけが

全国の自治体同士が、1日15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率を競う住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が5月27日(水)に行われる。寒川町は今回初めて参加する。

寒川町の対戦相手は富山県南砺（なんと）市。今年で11回目の参加という強豪だ。5月13日(水)には両市町によるエール交換が行われ、寒川町の木村俊雄町長と南砺市の田中幹生市長がインターネット電話を通じて対面し、互いの健闘を誓い、住民のチャレンジデーへの参加を呼び掛けた。

集まった参加自治体の中から規模の近い自治体が対戦相手選ばれ、午前0時から午後9時までに15分以上の運動した住民（在勤・在学者含む）の参加率で勝敗が競われる。負けた自治体は相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚するというユニークな約束も。

2015年5月15日 金曜日
タウンニュース寒川版



一球入魂！野球教室

スポーツの力で地域の輪を広げよう！ —初参戦—

寒川町チャレンジデー2015

5月27日(水) 寒川町 VS 南砺市

午前0時から午後9時まで 富山県

町内で、15分運動すれば、誰でも、どこでも、どんな運動でもOK!

楽しく運動し、みんなの力で身体を目標を達成しよう！

◆チャレンジデーとは、**【全国一律開催】**5月の最終水曜日午前0時～午後9時の間に人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して運動した住民の参加率を競うイベントです。対戦に敗れた場合は、相手自治体の旗をメインポールに1週間掲揚するユニークなルールです。
※自主的な個人参加で報告できます。

◆町内で15分以上からだを動かせば、どんなことでも参加OKです。
例えば、
・ペットの散歩
・歩きや自転車通勤や買い物
・ゴルフの素振り
・歩いて出かけて畑の草取り
※町外の方も町内で運動したら報告してください！

★★★実行委員会開催のイベントは、裏面です。ぜひご参加ください。★★★

◆からだを動かしたら、参加報告をしましょう！（1人1回が原則です）
◆次のいずれかの方法で報告できます。◆

電話 0467-74-1111内線161~165 午前8時30分から受付	報告締切午後9時30分 ※報告は、個人は地区と人数 団体は団体名と人数
0467-74-5613 裏面を記入してFAXしてください	報告用紙は裏面にあります 設置場所：役場・公民館・体育館など
携帯電話、スマートフォンを使って登録フォームから報告	スマートフォン QRコードを読み取り、サイトにアクセスして 情報を登録して下さい ※Google Playの、TL01をサポートしていない携帯電話では、 モバイル向けサイトを利用できません。

パソコン <https://shinsei.e-kanagawa.lg.jp/kanagawa/uketake/dform.do?acs=challengeday>
 ※寒川町ホームページのチャレンジデー2015からも登録フォームにアクセスできます！
 注意！登録フォームからは、当日の午前0時から午後9時30分までしか報告をお聞きしません。
 対象期間以外の報告は、集計されません。

対戦相手 富山県の南西部に位置し、豊かな自然や香りの高い歴史・文化遺産があります。世界遺産に登録された南砺市「五箇山の合掌造り集落」や板倉家棟方志功の「福光美術館」などが有名です。

寒川町チャレンジデー2015実行委員会事務局 健康・スポーツ課内 電話0467-74-1111内線161

チャレンジデー PR用チラシ

主 催

座間市チャレンジデー実行委員会 (委員長 遠藤三紀夫)
健康部スポーツ課
〒252-8566 神奈川県 座間市緑ヶ丘 1-1-1
TEL : 046-252-8177 FAX : 046-255-3550

結 果

人 口 : 128,918 人 神奈川県座間市 ●
参加者数 : 39,822 人 VS
参加率 : 30.9% 秋田県大仙市 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① オープニングセレモニー (座間市立市民体育館) 150 人
 - ・ 実行委員長開会宣言
 - ・ 井上尚弥選手チャレンジデー参加報告、エール
 - ・ We Love ZAMA 体操
 - ・ ラジオ体操
- ② フィナーレイベント (座間市立市民体育館) 100 人
- ③ サニープレイスでチャレンジ (軽度な筋トレとストレッチ) (座間市立総合福祉センター) 87 人
- ④ 一輪車教室・演技 (座間市立市民体育館) 82 人
- ⑤ 幼児・親子体操教室 (座間市立市民体育館) 71 人

【アスリート・著名人など】

井上尚弥 (座間市出身プロボクサー、大橋ボクシングジム所属、WBO 世界スーパーフライ級チャンピオン) / 藤元直美 (元 NHK テレビラジオ体操アシスタント)

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所

メディア

神奈川新聞 / tvk テレビ神奈川「tvk ニュース 930α」

広報・周知

チャレンジデーに先がけて市のイベント (緑化まつり、大風まつり) 会場で周知を行ったことで、多くの来場者にチャレンジデーを周知する事ができました。

また、市の伝統行事「大風まつり」の会場内で対戦相手の大仙市と市長同士が直接エール交換を行ったことで、お互いの市がチャレンジデーへの機運を高めることができました。

製作物

チラシ 60,000 枚 / スタッフTシャツ 150 枚 / ポケットティッシュ 3,000 個 / のぼり 120 本 / 横断幕・懸垂幕 1 枚 / クリアファイル 6,000 枚 / ポスター 880 枚

実施効果

普段はあまり運動をしないという方にもチャレンジデーに参加いただけました。また、そういった方から「15分なら継続できそう」、「これぐらいならできる」という声があり、少しずつではありますが運動習慣を根付かせるきっかけになったという手応えを感じています。

担当者から

地域や企業、学校、団体が「チャレンジデーの普及と参加率向上」という目標に向かって、一丸となって取り組む一体感を強く感じることができました。

各所で周知を行ってきましたが、今年度初挑戦ということもあり、まだまだチャレンジデーを知らないという方が多くいました。チャレンジデーの周知と投票方法の周知不足を感じています。



多くの人が参加したオープニングセレモニー



古希・還暦チームに元プロ野球選手の福留さんが指導



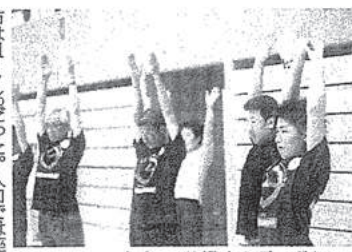
卓球遊技・競技

井上選手ら招き チャレンジデー

初挑戦の座間敗れる

対戦相手の自治体と住民らのスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2015」（日本事務局・笹川スポーツ財団）が27日行われ、初挑戦の座間市は友好交流都市の秋田県大仙市に敗れた。座間市は市民への周知が足りなかったと敗因を分析。ルール通り、市役所に大仙市の市旗を一週間掲げる。

チャレンジデーは人口規模がほぼ同じ自治体が、15分以上稼げて運動した人の参加率で勝負する。座間市は市民の参加率を上げようと、当日は市内出身でプロボクシングの世界チャンピオンの井上尚弥選手らを迎え、市民体育館や福祉センターなどでイベントを開いた。



チャレンジデーで体操するプロボクシングの井上尚弥選手（右）ら
＝座間市民体育館

市は51.7%だった。人口では座間市の方が3万4千人ほど多いが、参加人数は座間市の3万9000人に対し、大仙市は4万4千600人と、実数でも回った。座間市スポーツ課は「大仙は3回目の参加で、経験もある。今回の30.9%は前回に匹敵する数字で、来年は勝利したい」と話している。（山元 信之）

2015年5月29日 金曜日 神奈川新聞

座間市は17日、世界中で毎年5月の最終水曜日に開かれるカナダ発祥のスポーツイベント「チャレンジデー」に初めて参加すると発表した。当日に運動した住民の参加率を競うもので、座間の目標は50%。対戦相手は、8月に友好交流都市協定を結んだ秋田県大仙市に決まった。

座間市が「チャレンジデー」初挑戦

住民の運動参加率競う 秋田・大仙市と対戦

でもよい。参加者は、報告シートを公共施設に設けられた回収箱に入れるか、電話・ファクス・メールで知らせる。座間市では、企業や学校ぐるみの取り組みが進むほか、スカイアリーナ座間を主会場に午前9時から、体操や少年サッカー、卓球、一輪車の教室がある。

退任3期市長は「協定の記念に互いの努力を高め、切磋琢磨して健康増進に努めたい」。5月4日、座間の大規模な交流会で両市長がエールを交換する。大仙市は過去2回の参加で連敗しており、初勝利に意欲を燃やしている。

2015年4月18日 土曜日 朝日新聞



2015年5月27日
午前0時から午後9時までの間

チャレンジデーのチラシ、ポスター
もともと市民の健康増進を目的としてきた座間市では、県からの推薦もあり参加を決めたところ、その

市民体育館スポーツ課の担当者は「10万5千人以上の参加を目標と呼びかけています。市主催や関係団体のスポーツイベントの日に集中させ、多くの市民（市内在勤者も報告可）に運動を促すようお願いしています」と話す。15分以上稼げば0.5ですが、気運に参加報告をしてい

いとのこと。チャレンジデーをきっかけに運動やスポーツへの意欲が高まれば、と期待をよせる。参加報告シートは、市内公共施設に設置されるチャレンジデーのチラシの裏、また、広報を5月15日の一面下についている。当日のみ報告が可能で、回収ボックスが設置されるほか、電話やDメールでも受け付け。

あさポケ&イワサキ新聞店グループは、座間市のチャレンジデーを応援します！

5月27日(水)

目指せ！参加率50%

市民が運動・スポーツする日「チャレンジデー」

座間市（菅原紀夫市長）は、地域ぐるみの健康増進を目的に、5月27日(水)午前0時～午後9時、住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に初参加。この日、所定の時間内に、「15分以上の運動やスポーツをしよう」と市民に呼びかけている。

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている。住民参加型のスポーツイベント、日本は、1993年から笹川スポーツ財団がコーディネートし、全国の自治体が任意で参加するようになった。

この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間、15分以上稼げて運動した人の参加率を競う。座間市は、今年が初めて参加する。目標は50%。

座間市は、対戦相手の自治体と住民らのスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2015」（日本事務局・笹川スポーツ財団）が27日行われ、初挑戦の座間市は友好交流都市の秋田県大仙市に敗れた。座間市は市民への周知が足りなかったと敗因を分析。ルール通り、市役所に大仙市の市旗を一週間掲げる。

座間市スポーツ課は「大仙は3回目の参加で、経験もある。今回の30.9%は前回に匹敵する数字で、来年は勝利したい」と話している。（山元 信之）

座間市は17日、世界中で毎年5月の最終水曜日に開かれるカナダ発祥のスポーツイベント「チャレンジデー」に初めて参加すると発表した。当日に運動した住民の参加率を競うもので、座間の目標は50%。対戦相手は、8月に友好交流都市協定を結んだ秋田県大仙市に決まった。

健康増進を高める住民参加型イベントで、今年5月27日、国内では130市町村が名乗りをあげている。人口規模が近い自治体に対して、敗れると、相手自治体の旗を庁舎メインポールの1週間掲揚してたたえるルールがある。

運動は、午前0時から午後9時の間に15分以上稼げる。スポーツ競技だけでなく、個人でできる体操や散歩など、体を動かすことなら何

でもよい。参加者は、報告シートを公共施設に設けられた回収箱に入れるか、電話・ファクス・メールで知らせる。座間市では、企業や学校ぐるみの取り組みが進むほか、スカイアリーナ座間を主会場に午前9時から、体操や少年サッカー、卓球、一輪車の教室がある。

退任3期市長は「協定の記念に互いの努力を高め、切磋琢磨して健康増進に努めたい」。5月4日、座間の大規模な交流会で両市長がエールを交換する。大仙市は過去2回の参加で連敗しており、初勝利に意欲を燃やしている。

イベントの事務局によると、県内では他に伊勢原、逗子、開成、松田、湯河原、大井、寒川、真鶴、山北の各市町が参加予定。（吉村 盛志）

市民が運動・スポーツする日「チャレンジデー」

座間市（菅原紀夫市長）は、地域ぐるみの健康増進を目的に、5月27日(水)午前0時～午後9時、住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に初参加。この日、所定の時間内に、「15分以上の運動やスポーツをしよう」と市民に呼びかけている。

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている。住民参加型のスポーツイベント、日本は、1993年から笹川スポーツ財団がコーディネートし、全国の自治体が任意で参加するようになった。

この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間、15分以上稼げて運動した人の参加率を競う。座間市は、今年が初めて参加する。目標は50%。

座間市は、対戦相手の自治体と住民らのスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2015」（日本事務局・笹川スポーツ財団）が27日行われ、初挑戦の座間市は友好交流都市の秋田県大仙市に敗れた。座間市は市民への周知が足りなかったと敗因を分析。ルール通り、市役所に大仙市の市旗を一週間掲げる。

座間市スポーツ課は「大仙は3回目の参加で、経験もある。今回の30.9%は前回に匹敵する数字で、来年は勝利したい」と話している。（山元 信之）

座間市は17日、世界中で毎年5月の最終水曜日に開かれるカナダ発祥のスポーツイベント「チャレンジデー」に初めて参加すると発表した。当日に運動した住民の参加率を競うもので、座間の目標は50%。対戦相手は、8月に友好交流都市協定を結んだ秋田県大仙市に決まった。

健康増進を高める住民参加型イベントで、今年5月27日、国内では130市町村が名乗りをあげている。人口規模が近い自治体に対して、敗れると、相手自治体の旗を庁舎メインポールの1週間掲揚してたたえるルールがある。

運動は、午前0時から午後9時の間に15分以上稼げる。スポーツ競技だけでなく、個人でできる体操や散歩など、体を動かすことなら何

でもよい。参加者は、報告シートを公共施設に設けられた回収箱に入れるか、電話・ファクス・メールで知らせる。座間市では、企業や学校ぐるみの取り組みが進むほか、スカイアリーナ座間を主会場に午前9時から、体操や少年サッカー、卓球、一輪車の教室がある。

退任3期市長は「協定の記念に互いの努力を高め、切磋琢磨して健康増進に努めたい」。5月4日、座間の大規模な交流会で両市長がエールを交換する。大仙市は過去2回の参加で連敗しており、初勝利に意欲を燃やしている。

イベントの事務局によると、県内では他に伊勢原、逗子、開成、松田、湯河原、大井、寒川、真鶴、山北の各市町が参加予定。（吉村 盛志）

2015年5月17日 日曜日 ミニコミ誌 あさのポケット

主催

逗子市チャレンジデー実行委員会 (会長 東 弘之)
市民協働部 文化スポーツ課
〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5-2-16
逗子市役所
TEL: 046-873-1111 FAX: 046-872-4520

結果

人口: 60,081人
参加者数: 24,587人
参加率: 40.9%
取得メダル: 銀

神奈川県逗子市 ○
VS
広島県三次市 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ハーフマイルビーチを歩く会 (逗子海岸) 636人
- ②市長とおらほのラジオ体操 (亀岡八幡宮) 150人
・ 逗子市役所隣の亀岡八幡宮において市長も参加して行われるラジオ体操
- ③ラジオ体操 (逗子海岸) 134人
- ④かけっこ教室 (池子の森自然公園 400mトラック) 100人
- ⑤ラジオ体操 (久木神社) 100人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設

メディア

J:COM 湘南 (鎌倉局)「7daysdaily」/J:COM 湘南 (横須賀局)「デイリーニュース トピックス紹介」/三次ケーブルビジョン「情報ストリート あっちこっち三次」

広報・周知

- ・ JR 逗子駅、JR 東逗子駅、京急新逗子駅、京急神武寺駅の駅前でエントリーシート付きのポケットティッシュを配布しました。
- ・ エントリーシートにQRコードを記載することで、メールでのエントリーをし易くしました。
- ・ 市役所1階のロビーにチャレンジデー特設ブースを設けました。
- ・ 自治会、町内会へ協力を呼びかけました。
- ・ エントリーボックスを市内約60カ所に設置しました。

製作物

チラシ 18,000枚/ポケットティッシュ 3,000個

実施効果

チャレンジデーで実施されたプログラムから、継続して実施されるものが出てきたことは健康増進・スポーツ推進として効果があったと感じられました。

担当者から

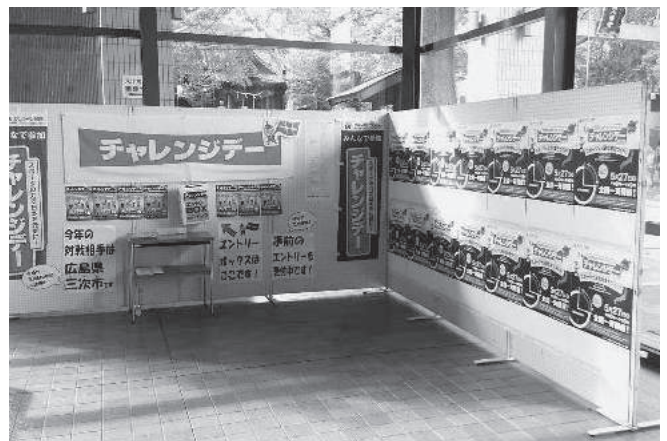
4回目の実施となるため、チャレンジデーの名称を知っている人は増えてきていますが、チャレンジデーの意義や目的、ルール、エントリー方法までも理解している人は、まだ少ないです。



海岸ラジオ体操



海岸ノルディックウォーク



市役所1階チャレンジデー特設ブース